

B 調査

(※選択肢の左側等に、単純集計の結果を記載している。特に記載のない限り、n=1,064人、単位=%となっている。)

基本データについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

貴法人名、あなたの性別、年齢等について御記入ください。

法人名	
性別	40.2 男性 57.2 女性 2.5 無回答
年齢	平均 44.0歳
役職	
雇用形態	52.3 正規職員 33.5 非正規職員 14.2 無回答
支援経験	(現在の法人) 平均 3.7年
	(現在の法人以外) 平均 6.9年

1 あなたに関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問1 あなたは、現在所属している法人の職員となる前にどのような仕事をしたことがありますか。次のうちから、当てはまるもの全てに○を付けてください。なお、職種としては就いていないものの業務として行っていた場合にも、該当する選択肢に○を付けてください。

- 11.6 1 経営・管理
- 8.6 2 人事・総務
- 12.4 3 会計・経理
- 9.1 4 広報・宣伝・渉外
- 16.5 5 営業職
- 5.7 6 研究開発職
- 20.1 7 一般事務職
- 28.8 8 販売・接客
- 10.3 9 製造・組立
- 7.5 10 軽作業
- 30.5 11 教育職 (選択肢1～10に当てはまる業務を除く。)
- 8.3 12 医療・保健職 (選択肢1～10に当てはまる業務を除く。)
- 22.7 13 福祉職 (選択肢1～10に当てはまる業務を除く。)
- 4.5 14 就労経験なし (現在所属している法人に新卒者として採用)
- 2.6 15 就労経験なし (現在所属している法人に新卒者以外で採用)
- 8.7 16 その他 ()
- 2.0 無回答

問2 あなたが、現在所属している法人の職員となった動機はどのようなものですか。次のうちから、当てはまるものを全てに○を付けてください。

- 49.2 1 人の役に立ち、社会や地域に貢献したかったから
- 46.7 2 当該法人の理念や活動目的に共感したから
- 44.1 3 自分の経験や能力を生かしたかったから
- 27.9 4 新しい知識や技術、経験を得るため
- 5.3 5 将来起業・独立するために有益な経験になると思ったから
- 28.1 6 同じ思いや目的を持った仲間の輪を広げることができると思ったから
- 21.1 7 収入を得るため
- 42.6 8 支援の仕事に興味・関心があったから
- 4.8 9 地域の情報など、必要な分野の情報を得るため
- 1.2 10 学校で紹介されたから
- 22.5 11 知り合いから紹介されたから
- 7.7 12 その他（ ）
- 0.9 無回答

ここから先の設問は、支援をする上で最も大変だったと感じたケース（支援対象者本人の抱えている困難の度合いが一番大きかったもの。現在支援をしているケースを含む。）1つについて、御回答ください。

2 支援実践上の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問3 困難を有する子ども・若者に対する支援実践上の課題について、支援をする上で最も大変だったと感じたケース（支援対象者本人の抱えている困難の度合いが一番大きかったもの。現在支援をしているケースを含む。）を1つ思い浮かべた上で、次の（1）～（6）についてお答えください。

（1）その子ども・若者はどのような状況でしたか。次のうちから、当てはまるもの1つに○を付けてください。

なお、複数の状況に当てはまる場合は、それらの状況のうち支援対象者として初めてあなたの所属する法人に相談があった時点で、支援対象者又はその家族が最も解決したいと考えていた状況に○を付けてください。

- 19.5 1 不登校
- 28.7 2 ひきこもり
- 7.5 3 ニート
- 3.5 4 非行
- 30.5 5 その他（ ）
- ※ 「5 その他」を（ ）内の記入内容で分けると以下の通り
- 9.5 発達障害 16.6 発達障害以外 4.4 （ ）内がブランク
- 10.2 無回答

このページの設問は、支援をする上で最も大変だったと感じたケース（支援対象者本人の抱えている困難の度合いが一番大きかったもの。現在支援をしているケースを含む。）1つについて、御回答ください。

(2) (1) で選択した「困難を有する子ども・若者」を、あなたの所属する法人が支援を開始したときの支援対象者の年代はどれくらいでしたか。次のうちから、当てはまるもの1つに○を付けてください。

35.0 1 中学生以下 21.7 3 20歳代 3.9 5 40歳以上
18.9 2 10歳代後半（中学卒業後） 14.4 4 30歳代 6.2 無回答

(3) (1) で選択した「困難を有する子ども・若者」の支援はどのくらいの期間行いました（行っています）か。次のうちから、当てはまるもの1つに○を付けてください。

7.7 1 3か月未満 36.7 4 1年以上3年未満
7.9 2 3か月以上半年未満 21.6 5 3年以上10年未満
14.3 3 半年以上1年未満 4.8 6 10年以上 7.0 無回答

(4) あなたから見て、(1) で選択した「困難を有する子ども・若者」本人はどのような問題を抱えていましたか。次のア～タそれぞれについて、当てはまるもの1つに○を付けてください。

	1	2	3	4		
ア. 読み書き・計算などの基礎的な学力の低さ	当てはまる 25.7	やや当てはまる 22.3	当てはまらない 36.3	よく分からない 6.8	無回答 9.0	(を1つ)
イ. コミュニケーション能力の低さ	当てはまる 52.0	やや当てはまる 28.0	当てはまらない 12.2	よく分からない 1.2	無回答 6.6	(を1つ)
ウ. 生活自立能力の低さ	当てはまる 44.6	やや当てはまる 29.2	当てはまらない 14.0	よく分からない 4.2	無回答 7.9	(を1つ)
エ. 他者を思いやる心の欠如	当てはまる 29.5	やや当てはまる 32.7	当てはまらない 24.9	よく分からない 6.2	無回答 6.7	(を1つ)
オ. 自己表現力の低さ	当てはまる 37.4	やや当てはまる 37.9	当てはまらない 15.4	よく分からない 2.5	無回答 6.8	(を1つ)
カ. 自己肯定感の低さ	当てはまる 40.1	やや当てはまる 29.4	当てはまらない 15.0	よく分からない 8.4	無回答 7.0	(を1つ)
キ. 家族への不信任	当てはまる 23.8	やや当てはまる 29.5	当てはまらない 28.8	よく分からない 11.1	無回答 6.9	(を1つ)
ク. 同世代への不信任	当てはまる 23.1	やや当てはまる 30.4	当てはまらない 25.1	よく分からない 14.5	無回答 7.0	(を1つ)
ケ. 社会への不信任	当てはまる 26.2	やや当てはまる 27.8	当てはまらない 22.7	よく分からない 16.4	無回答 6.8	(を1つ)
コ. 人と関わることへの不安	当てはまる 46.0	やや当てはまる 31.8	当てはまらない 10.8	よく分からない 5.4	無回答 6.1	(を1つ)
サ. 同世代からの孤立	当てはまる 41.3	やや当てはまる 33.4	当てはまらない 11.4	よく分からない 7.3	無回答 6.7	(を1つ)
シ. 認知のゆがみ	当てはまる 33.2	やや当てはまる 30.5	当てはまらない 16.3	よく分からない 12.8	無回答 7.2	(を1つ)
ス. こころの不安定さ	当てはまる 53.0	やや当てはまる 29.4	当てはまらない 6.1	よく分からない 5.0	無回答 6.5	(を1つ)
セ. 不規則な生活習慣	当てはまる 35.6	やや当てはまる 27.4	当てはまらない 22.5	よく分からない 7.5	無回答 7.0	(を1つ)
ソ. 健康に対する不安	当てはまる 16.8	やや当てはまる 25.8	当てはまらない 38.6	よく分からない 12.0	無回答 6.7	(を1つ)
タ. 障害があるが、その受容ができない	当てはまる 16.8	やや当てはまる 26.8	当てはまらない 33.3	よく分からない 16.5	無回答 6.6	(を1つ)

このページの設問は、支援をする上で最も大変だったと感じたケース（支援対象者本人の抱えている困難の度合いが一番大きかったもの。現在支援をしているケースを含む。）1つについて、御回答ください。

(5) あなたから見て、(1) で選択した「困難を有する子ども・若者」は生育上どのような経験をしていましたか。次のア～トのそれぞれについて、当てはまるもの1つに○を付けてください。

	1	2	3	4		
ア. 経済的に苦しい生活を送った	当てはまる 7.7	やや当てはまる 15.5	当てはまらない 58.1	よく分からない 11.7	無回答 7.0	(を1つ)
イ. 何らかの事情により住居を転々とした	当てはまる 5.5	やや当てはまる 12.6	当てはまらない 61.4	よく分からない 13.5	無回答 7.0	(を1つ)
ウ. 児童養護施設で育った	当てはまる 2.0	やや当てはまる 2.8	当てはまらない 80.5	よく分からない 7.2	無回答 7.4	(を1つ)
エ. 両親が離婚（再婚）をした	当てはまる 15.1	やや当てはまる 8.4	当てはまらない 59.3	よく分からない 10.2	無回答 7.0	(を1つ)
オ. 家族から虐待を受けた	当てはまる 6.9	やや当てはまる 12.1	当てはまらない 58.8	よく分からない 15.4	無回答 6.8	(を1つ)
カ. 保護者のしつけが必要以上に厳しかった	当てはまる 7.1	やや当てはまる 22.7	当てはまらない 42.7	よく分からない 20.6	無回答 6.9	(を1つ)
キ. 保護者が必要以上に甘やかしていた	当てはまる 12.7	やや当てはまる 25.1	当てはまらない 35.0	よく分からない 20.5	無回答 6.8	(を1つ)
ク. 保護者が過度の期待をかけた	当てはまる 11.6	やや当てはまる 24.6	当てはまらない 36.2	よく分からない 20.8	無回答 6.9	(を1つ)
ケ. 引越しや転校が多かった	当てはまる 2.8	やや当てはまる 10.8	当てはまらない 63.0	よく分からない 16.5	無回答 6.9	(を1つ)
コ. 学校の授業が理解できなかった	当てはまる 17.8	やや当てはまる 25.7	当てはまらない 30.7	よく分からない 18.7	無回答 7.1	(を1つ)
サ. 学校や職場に友人がいなかった	当てはまる 21.3	やや当てはまる 33.4	当てはまらない 23.3	よく分からない 15.3	無回答 6.7	(を1つ)
シ. 学校や職場でいじめを受けた	当てはまる 20.2	やや当てはまる 25.3	当てはまらない 28.1	よく分からない 19.9	無回答 6.5	(を1つ)
ス. 不登校を経験した	当てはまる 39.6	やや当てはまる 17.8	当てはまらない 22.7	よく分からない 13.3	無回答 6.8	(を1つ)
セ. 高校を中退した	当てはまる 16.4	やや当てはまる 8.2	当てはまらない 55.5	よく分からない 11.9	無回答 8.0	(を1つ)
ソ. 進学を断念した	当てはまる 12.2	やや当てはまる 12.1	当てはまらない 51.2	よく分からない 16.1	無回答 8.4	(を1つ)
タ. 就職後1年以内に離職した	当てはまる 12.7	やや当てはまる 8.9	当てはまらない 55.5	よく分からない 13.7	無回答 9.1	(を1つ)
チ. 自傷行為をした	当てはまる 13.1	やや当てはまる 15.5	当てはまらない 50.1	よく分からない 14.1	無回答 7.2	(を1つ)
ツ. 家庭内暴力があった	当てはまる 14.9	やや当てはまる 16.9	当てはまらない 43.1	よく分からない 17.9	無回答 7.1	(を1つ)
テ. 非行やぐ犯行為（※）をしていた	当てはまる 7.2	やや当てはまる 7.8	当てはまらない 65.7	よく分からない 12.1	無回答 7.1	(を1つ)
ト. アルコールやギャンブルに依存した	当てはまる 3.7	やや当てはまる 6.0	当てはまらない 71.5	よく分からない 11.2	無回答 7.6	(を1つ)

(※) ここでいう「ぐ犯行為」とは、万引きや深夜徘徊、恐喝など非行につながる又はつながる危険性のある行為を指します。

このページの設問は、支援をする上で最も大変だったと感じたケース（支援対象者本人の抱えている困難の度合いが一番大きかったもの。現在支援をしているケースを含む。）1つについて、御回答ください。

(6) あなたから見て、(1)で選択した「困難を有する子ども・若者」の家族はどのような問題を抱えていましたか。次のア～シそれぞれについて、当てはまるもの1つに○を付けてください。

	1	2	3	4		
ア. 両親（事実婚を含む。）の不仲	当てはまる 17.3	やや当てはまる 19.4	当てはまらない 35.4	よく分からない 20.4	無回答 7.5	(を1つ)
イ. 過干渉	当てはまる 17.7	やや当てはまる 27.7	当てはまらない 29.2	よく分からない 18.0	無回答 7.3	(を1つ)
ウ. 子どもへの依存	当てはまる 12.2	やや当てはまる 22.7	当てはまらない 40.0	よく分からない 17.7	無回答 7.3	(を1つ)
エ. 養育者の不安定就労	当てはまる 7.9	やや当てはまる 14.0	当てはまらない 56.5	よく分からない 14.2	無回答 7.4	(を1つ)
オ. 養育者が被虐待経験を有している	当てはまる 3.5	やや当てはまる 5.9	当てはまらない 46.6	よく分からない 36.4	無回答 7.6	(を1つ)
カ. DV（ドメスティック・バイオレンス）	当てはまる 4.7	やや当てはまる 7.8	当てはまらない 53.1	よく分からない 27.1	無回答 7.3	(を1つ)
キ. 多重債務	当てはまる 2.3	やや当てはまる 5.3	当てはまらない 56.6	よく分からない 28.5	無回答 7.4	(を1つ)
ク. 養育者がアルコール・ギャンブル依存	当てはまる 2.5	やや当てはまる 5.8	当てはまらない 61.3	よく分からない 23.1	無回答 7.2	(を1つ)
ケ. 子どもに障害があるが、その受容ができない	当てはまる 10.2	やや当てはまる 26.4	当てはまらない 41.1	よく分からない 14.8	無回答 7.5	(を1つ)
コ. 仕事中心で家庭を顧みない	当てはまる 5.8	やや当てはまる 18.6	当てはまらない 47.1	よく分からない 20.9	無回答 7.6	(を1つ)
サ. 家庭崩壊	当てはまる 9.3	やや当てはまる 18.2	当てはまらない 46.2	よく分からない 18.6	無回答 7.6	(を1つ)
シ. 家族全体が社会的に孤立している	当てはまる 7.3	やや当てはまる 18.6	当てはまらない 47.3	よく分からない 19.2	無回答 7.6	(を1つ)

3 実践内容に対する評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問4 あなたから見て、問3（1）で選択した「困難を有する子ども・若者」の支援を実施していた期間の状況はどうでしたか。次のア～カそれぞれについて、現在振り返って（現在支援をしているケースについては、現時点での）自己評価として当てはまるもの1つに○を付けてください。

ア. 支援対象者のニーズの把握	できた 18.5	ある程度できた 54.4	あまりできなかった 16.8	できなかった 2.2	無回答 8.1	(を1つ)	
イ. 支援対象者の状態の把握	できた 21.7	ある程度できた 55.7	あまりできなかった 13.4	できなかった 1.0	無回答 8.1	(を1つ)	
ウ. 支援対象者との信頼関係の構築	できた 22.7	ある程度できた 50.4	あまりできなかった 15.7	できなかった 2.9	無回答 8.3	(を1つ)	
エ. 家族等周囲の者からの情報収集	できた 17.1	ある程度できた 40.5	あまりできなかった 25.3	できなかった 8.8	無回答 8.3	(を1つ)	
オ. 法人内で構成した支援チームによる支援	できた 18.2	ある程度できた 45.5	あまりできなかった 16.9	できなかった 4.6	必要なかった 6.3	無回答 8.5	(を1つ)
カ. 関係機関と連携した支援	できた 13.3	ある程度できた 34.4	あまりできなかった 25.0	できなかった 10.7	必要なかった 8.6	無回答 8.1	(を1つ)

このページの設問は、支援をする上で最も大変だったと感じたケース（支援対象者本人の抱えている困難の度合いが一番大きかったもの。現在支援をしているケースを含む。）1つについて、御回答ください。

問5 あなたから見て、問3（1）で選択した「困難を有する子ども・若者」の支援を実践して特に有効だと感じた支援内容・方法、又は、実践できれば有効だったと考える支援内容・方法はどのようなものですか。

(1) 実践して特に有効だと感じた支援内容・方法

[]

(2) 実践できれば有効だったと考える支援内容・方法

[]

問6 あなたから見て、問3（1）で選択した「困難を有する子ども・若者」を支援していた期間、支援内容・方法以外の法人内部で解決すべき課題はありましたか。次の（1）及び（2）についてお答えください。

(1) 実践内容について、改善の必要はありましたか。次のうちから当てはまるもの1つに○を付けてください。

- 61.7 1 改善の必要はあった
- 27.4 2 改善の必要はなかった ⇒ 問7へ
- 10.8 無回答

(n = 657)

(2) 支援内容・方法以外の法人内部で解決すべき課題はどのようなものだったと考えますか。次のうちから当てはまるもの全てに○を付けてください。

- 41.2 1 職員の教育訓練機会を増やすこと
- 45.8 2 法人内部での役割分担や支援の進め方を見直すこと
- 36.1 3 有識者など専門家の意見を実践に取り入れること
- 40.5 4 支援目標や支援計画を見直すこと
- 12.0 5 その他 ()
- 1.1 無回答

ここから先の設問は、特定のケースに限定せず、**困難を有する子ども・若者の支援一般**について、あなた自身の考えを御回答ください。

4 支援に対する基本姿勢

問7 困難を有する子ども・若者を支援する上で、あなた自身はどのような考えをお持ちですか。次のア～クそれぞれについて、当てはまるもの1つに○を付けてください。

ア. 支援者はゴールを明確にした支援プログラムを用意すべきである	そう思う 27.8	どちらかといえば そう思う 40.4	そうは思わない 26.9	無回答 4.9	(を1つ)
イ. スモールステップを設定した段階別の支援が有効である	そう思う 58.1	どちらかといえば そう思う 30.8	そうは思わない 6.1	無回答 5.0	(を1つ)
ウ. 子ども・若者の想いや話を受容した上で支援計画を立てるべきである	そう思う 68.6	どちらかといえば そう思う 25.0	そうは思わない 2.2	無回答 4.2	(を1つ)
エ. 本来、全ての子ども・若者は問題を解決できる潜在的な力を持っている	そう思う 37.0	どちらかといえば そう思う 40.7	そうは思わない 17.8	無回答 4.5	(を1つ)
オ. 支援者は当事者が集まりそれぞれの問題を解決できるような環境醸成に努めるべきである	そう思う 47.5	どちらかといえば そう思う 40.4	そうは思わない 7.0	無回答 5.1	(を1つ)
カ. まずは家族の考え方の吟味や当事者を取り巻く環境への働きかけに取り組むべきである	そう思う 39.8	どちらかといえば そう思う 47.1	そうは思わない 8.4	無回答 4.7	(を1つ)
キ. 家族にしかできない役割があるので家族も支援の一端を担うべきである	そう思う 63.6	どちらかといえば そう思う 29.5	そうは思わない 3.2	無回答 3.7	(を1つ)
ク. それまでの実践を生かした支援の手引きがあればよいと思う	そう思う 35.2	どちらかといえば そう思う 45.4	そうは思わない 14.8	無回答 4.6	(を1つ)

問8 あなたはどのように困難を有する子ども・若者の支援方針を策定していますか。次の(1)及び(2)についてお答えください。

(1) あなたは支援方針の策定に携わっていますか。次のうちから当てはまるもの1つに○を付けてください。

57.2	1 策定に携わっている
37.6	2 策定に携わっていない ⇒ 問9へ
5.2	無回答

(n = 609)

(2) 支援方針を策定する際、あなた自身はどのような点を重視しますか。次のア～オそれぞれについて、当てはまるもの1つに○を付けてください。

ア. 支援実践開始前のアセスメント	重視する 51.6	ある程度重視する 38.9	あまり重視しない 5.1	重視しない 0.8	無回答 3.6	(を1つ)
イ. 支援対象者の意欲・意向	重視する 65.2	ある程度重視する 30.2	あまり重視しない 3.1	重視しない 0.3	無回答 1.1	(を1つ)
ウ. 家庭状況や保護者の意向	重視する 44.5	ある程度重視する 46.8	あまり重視しない 6.9	重視しない 0.7	無回答 1.1	(を1つ)
エ. 事業ごとに設定された進路目標の達成度	重視する 20.2	ある程度重視する 50.7	あまり重視しない 22.2	重視しない 4.6	無回答 2.3	(を1つ)
オ. 当該法人が支援することの妥当性	重視する 42.2	ある程度重視する 45.5	あまり重視しない 8.7	重視しない 1.1	無回答 2.5	(を1つ)

問9 困難を有する子ども・若者を支援する際、どのような段階に達したら支援を終結してもよい（事業ごとの支援ゴールではなく、支援対象者との関係を終結してもよい）と考えていますか。

次のうちから最も当てはまるもの1つに○を付けてください。

- 2.7 1 既定の年齢への到達
- 2.5 2 プログラム（又は事業）の終了
- 4.9 3 就学又は就業（就業形態は問わない）
- 19.3 4 就学又は就業（就業形態は問わない）の一定期間の継続後
- 14.1 5 対人関係の改善（家族以外の人間関係の構築）
- 49.5 6 本人・家族が必要ないと感じた時点
- 7.0 無回答

5 支援者の意識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問10 困難を有する子ども・若者の支援を実施するに当たり、どのような点を解決すべきことだと考えていますか。次の（1）～（6）それぞれについて、最も重要な課題と考えるもの1つに○を付けてください。

（1）支援対象者との関係

- 25.6 1 支援対象者から必要以上に依存されること
- 10.0 2 支援対象者から拒絶反応（暴言や暴力）を受けること
- 11.7 3 支援対象者の状況や要求を受け入れられず拒否してしまうこと
- 25.4 4 支援対象者への過度な共感・感情移入してしまい、適切な支援が困難になること
- 22.2 5 上記4つは最重要課題ではない
- 5.2 無回答

（2）支援対象者の家族との関係

- 10.7 1 支援対象者の家族から支援の進捗状況や支援内容について過度な要望や抗議を受けること
- 33.2 2 支援対象者の家族との協力や関係構築が困難であること
- 24.4 3 支援対象者の家族内部の問題には介入できないものがあること
- 15.3 4 支援対象者の家族が支援対象者の障害や特性を受容できるように支援できないこと
- 11.3 5 上記4つは最重要課題ではない
- 5.1 無回答

（3）他機関や地域との連携・協力関係

- 14.1 1 職業訓練等の受け入れ先を確保すること
- 28.4 2 各種専門機関との連携を図ること・強めること
- 17.7 3 教育機関との連携を図ること・強めること
- 27.0 4 行政機関の理解・協力を得ること
- 7.9 5 上記4つは最重要課題ではない
- 5.0 無回答

(4) 職務遂行上の不安

- 12.8 1 支援について専門的な助言をしてくれる者が身近にいないこと
- 10.4 2 教育訓練機会が不足していること
- 11.7 3 職務の権限と範囲が明確でないこと
- 8.9 4 実践の有効性や妥当性の評価方法が定まっていないこと
- 32.1 5 複合的な問題を有している者が多く、見立てが困難なこと
- 17.2 6 上記5つは最重要課題ではない
- 6.8 無回答

(5) 支援に対する社会的評価

- 38.8 1 子ども・若者支援に対する社会的理解や認知が低いこと
- 12.7 2 地域社会の理解を得にくく、孤立しがちであること
- 19.5 3 協力してくれる企業等の拡充が困難であること
- 14.9 4 行政機関の理解が得にくいこと
- 8.6 5 上記4つは最重要課題ではない
- 5.5 無回答

(6) 処遇や職場の状況

- 14.2 1 多忙であること
- 21.0 2 精神的なストレスやリスクが大きいこと
- 22.4 3 賃金など処遇面が十分でないこと
- 3.3 4 職場の人間関係が良好でないこと
- 5.8 5 将来のキャリアプランを描けないこと
- 2.4 6 土日祝日や夜間の仕事があること
- 23.3 7 上記6つは最重要課題ではない
- 7.6 無回答

問11 あなたは現在所属している法人の職員になってから今まで、給与にどのような変化がありましたか。次のうちから当てはまるもの1つに○を付けてください。

- 14.6 1 上昇傾向
- 7.9 4 一定期間上昇したが、その後変化なし
- 7.2 2 低下傾向
- 56.9 5 ほとんど変化なし
- 3.6 3 上がったたり下がったり
- 9.9 無回答

問12 あなたは現在所属している法人の業務内容、体制、休暇、福利厚生等に係る環境や待遇全般に対してどのように感じていますか。次のうちから当てはまるもの1つに○を付けてください。

- 16.5 1 満足している
- 11.9 4 やや不満である
- 22.3 2 まあ満足している
- 10.8 5 不満である
- 31.6 3 どちらともいえない
- 6.9 無回答

問13 あなたは現在所属している法人において支援の仕事が続けることについて、どのように考えていますか。次のうちから当てはまるもの1つに○を付けてください。

- 71.2 1 可能な限り現在の法人で支援の仕事が続けたい
- 8.0 2 今後期間を区切って現在の法人で支援の仕事が続けたい
- 1.4 3 他の法人に移って支援の仕事を行いたい
- 7.2 4 支援の仕事は続けたいが、現在の法人で続けるか迷っている
- 7.3 5 支援の仕事そのもの続けるか迷っている
- 0.6 6 支援の仕事そのものをやめたい
- 4.2 無回答

問14 困難を有する子ども・若者を支援するに当たり、支援対象者と向き合う上であなた自身はどのような能力が重要と考えていますか。次のうちから最も重要と考える能力1つに○を付けてください。

- 18.3 1 科学的分析能力（アセスメント能力等）
- 43.8 2 カウンセリング能力（共感や傾聴のスキル等）
- 13.1 3 実践を振り返る力
- 13.2 4 自己のストレスに対応する力
- 6.8 5 危機管理能力
- 4.9 無回答

問15 困難を有する子ども・若者を支援するに当たり、専門性を高めるためにあなた自身が必要だと考える教育訓練はどのようなものですか。次のうちから必要と考えるもの上位3つ以内に○を付けてください。

- 30.1 1 法人内の講義形式による理論・知識に関する研修
- 48.2 2 法人内のケーススタディ形式による研修
- 27.1 3 法人内の実技研修（ロールプレイングなどによるものを含む）
- 35.8 4 他の支援団体との合同研修
- 29.0 5 他の支援団体での実地体験（OJT）
- 36.0 6 公的機関が行う研修・講演会への参加
- 24.4 7 公的機関以外が行う研修・講演会への参加
- 6.5 8 その他（ ）
- 3.9 無回答

問 16 困難を有する子ども・若者を支援するに当たり、あなたが現在所属する法人はどのようなことに気を付けていますか。次のア及びイそれぞれについて、当てはまるもの1つに○を付けてください。

ア. 支援対象者のためにも、自分たちの限界を超えた支援はしない	当てはまる 45.6	やや当てはまる 34.8	あまり当てはまらない 11.7	当てはまらない 3.4	無回答 4.5 (を1つ)
イ. 一人で抱え込まず、他の職員と連携して問題を解決する	当てはまる 69.5	やや当てはまる 21.4	あまり当てはまらない 3.7	当てはまらない 1.2	無回答 4.1 (を1つ)

問 17 関係機関との連携において、あなた自身が最も重要と考えるものはどのようなことですか。次の(1)及び(2)それぞれについて、当てはまるもの1つに○を付けてください。

(1) 他機関との連携に関する仕組み

- 33.1 1 支援対象者の個人情報や支援計画に関する情報の共有化
- 36.4 2 支援者や支援団体の専門分野に関する情報の共有化
- 20.4 3 子ども・若者育成支援推進法に基づく「子ども・若者支援地域協議会」など、社会的ネットワークへの参画
- 4.7 4 その他 ()
- 5.5 無回答

(2) 円滑に連携するための人材

- 13.7 1 関係機関・団体等を調整する特定の担当者を置くこと
- 35.1 2 支援対象者等との面接などからニーズを把握し、適切な機関につなげることができる人材を育成すること
- 31.5 3 支援対象者のニーズの変化に応じて支援体制を再構築することができる人材を育成すること
- 10.3 4 一人の支援対象者を自立までサポートする個別支援担当者を置くこと
- 3.8 5 その他 ()
- 5.6 無回答

御協力ありがとうございました。